



進路だより



福岡県立築城特別支援学校 進路指導課

高等部卒業後に向けて、身に付けておきたい力について

★後期体験・現場実習

高等部の後期体験・現場実習も無事に終わり、実習先との反省会を通してお褒めの言葉や、反省点、課題など、たくさんのご意見をいただきました。

今月号では、種類ごとに多くご意見をいただいた反省点や課題、企業や施設が求めている高等部卒業までに身に付けておいてほしい力について、就労面と生活面に分けて紹介します。

《 反省点・課題 》

【知的高等部】

種類	反省点・課題
一般就労	<ul style="list-style-type: none"> 適切な声の大きさを挨拶をする。 決められた勤務時間内に、集中して作業ができる体力を身に付ける。 作業終了の報告や相談・質問を自分からできるようになる。 周囲の方々と、積極的にコミュニケーションを取る。 など
就労継続支援 A型	<ul style="list-style-type: none"> どのような作業でも集中力を継続する。 作業が丁寧にできるのはもちろん、作業速度を意識する。 自分から報告や相談などのコミュニケーション取る。 など
就労移行	<ul style="list-style-type: none"> 自分から質問や報告が率先してできる。 作業内容が変わっても、丁寧な作業を心掛ける。 「困ったときに対応する力」を身に付ける。 など
就労継続支援 B型	<ul style="list-style-type: none"> 作業終了の報告を自分からできるようになる。 荷物の準備や管理など、身辺整理ができる。 調理作業では、衛生面と身だしなみを整える。 休憩時間と作業時間の切り替えができる。 など
生活介護	<ul style="list-style-type: none"> 担当の職員が変わっても、情緒が安定している。 一人で落ち着いて過ごせる手段を身に付ける。 一定時間、落ち着いて活動ができる。 など

【肢体高等部】

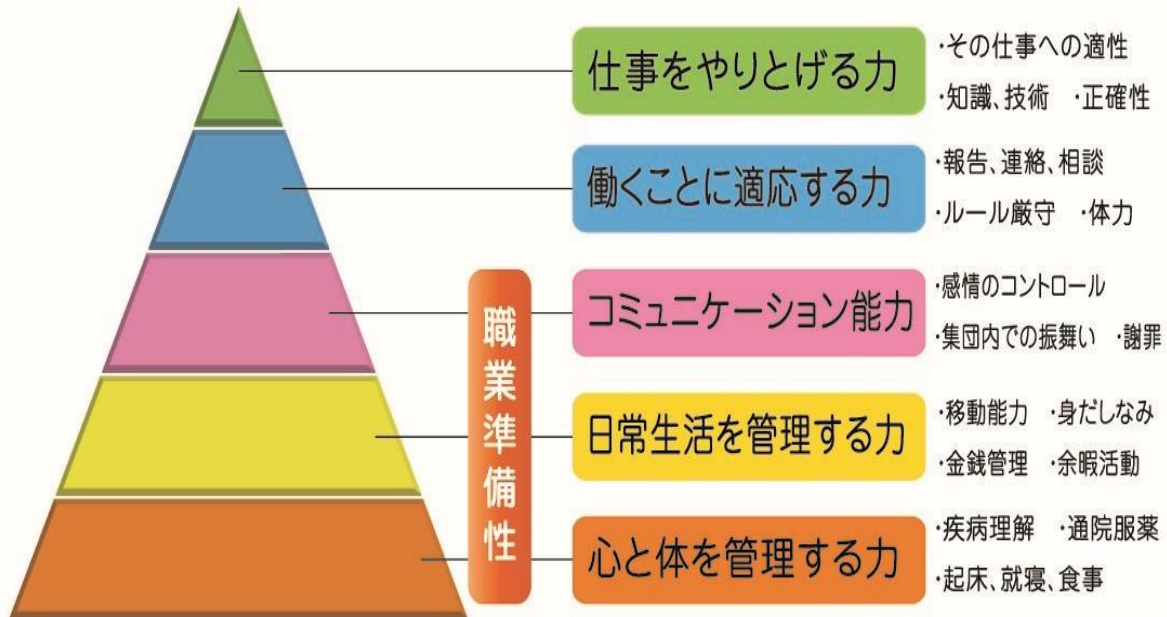
就労継続支援 A型	<ul style="list-style-type: none"> 表情の明るさ、声のトーンと明るさがよかったので、常に意識しておくとうまい。
就労継続支援 B型	<ul style="list-style-type: none"> 「頑張るぞ」と気負いせず、肩の力を抜いて作業する。 できなかつたときはくよくよせず、できなかつたことを引きずらな
生活介護	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意思を少しでも自分から伝える（表出する）。 余暇時間の過ごし方を学校卒業までに見付ける。 など

《 企業・施設から求められる力 》

【就労面】（一般就労、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型）

作業スキルの前に、下の職業準備性ピラミッドに示されているような働き続けるために必要不可欠な基礎的能力（健康管理や自分をコントロールする力、決められたルールを守るなど）が求められています。

職業準備性ピラミッド



【生活面】（生活介護）

- 余暇活動など一人で過ごす力。
- 集団の中で過ごす力。
- 食事、トイレ、作業、着替えなどで可能な限り一人でできる力。
（※一人でできる動作を増やすこと）
- 誰にでもわかる意思表示のしかたや方法。
（※Yes/No の表現、好き/嫌いの表現など）
- 日常生活における協力動作。（肢体生徒）
（※座位保持車いすのテーブルを付けるときに自分から手を挙げるなど）

高等部卒業までに、以上のような力を身に付けることができるよう、ご家庭と協力しながら取り組んでいきたいと思っております。

ご不明な点などあれば、担任を通して進路指導課へお知らせください。